

出典：気象庁ホームページ「新たな防災気象情報について（令和8年～）」を基に抜粋・加工

新しい防災気象情報について

□ 現在の防災気象情報(警戒レベル相当情報) ※気象庁が発表

警戒レベル 相当情報	防災気象情報				
	洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
	指定河川洪水 予報(河川毎)	洪水害 (市町村毎)	大雨浸水害 (市町村毎)		
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (浸水害)		大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫発生情報
4相当	氾濫危険情報			土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3相当	氾濫警戒情報	洪水警報		大雨警報 (土砂災害)	警報に切り替える 可能性が高い 高潮注意報
2相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報		高潮注意報
1相当					

【問題点】

- ・ 分野ごとに名称がバラバラ、また警戒レベル相当で名称が統一されていない。
(例：指定河川洪水予報では、警戒レベル3相当が氾濫警戒情報、土砂災害では、警戒レベル4相当が土砂災害警戒情報など)
- ・ 「相当情報」と避難情報の関係が分かりにくい。

□ 市町村が発表する避難情報

- ・ 市町村は、警戒レベル相当情報(気象庁発表)などを参考に総合的に避難指示等の発令を判断する。
- ・ 警戒レベル(市町村発表)は、とるべき避難行動が直感的にわかるように、5段階に整理したもの。
(例：警戒レベル4＝避難指示、警戒レベル3＝高齢者等避難)

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報 (避難情報等)
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに 安全確保！	緊急安全確保
<警戒レベル4までに必ず避難！>			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報

※これらを分かりやすくするために、新しい気象情報として気象庁は河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮の情報を、警戒レベル(1～5)に合わせた名称で令和8年5月下旬から運用を行う。

新しい防災気象情報(令和 8 年5月下旬から運用開始予定)

○主な変更について

- ・ 防災気象情報(河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮)を5段階の警戒レベルにあわせて発表をする。
- ・ レベル4相当の情報として危険警報を新設。
- ・ すべての情報が「レベル〇〇+現象名」で統一される(例:レベル4大雨危険警報 等)
- ・ 対象外の分野の特別警報・その他の警報は従来どおり(レベルの数字はつかない)

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難! >					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

○ 警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

- ・ 警戒レベル相当情報(河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮)以外の特別警報・警報・注意報は、これまでと変わらない。
- ・ これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、警戒レベルには相当しない。

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、 濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪